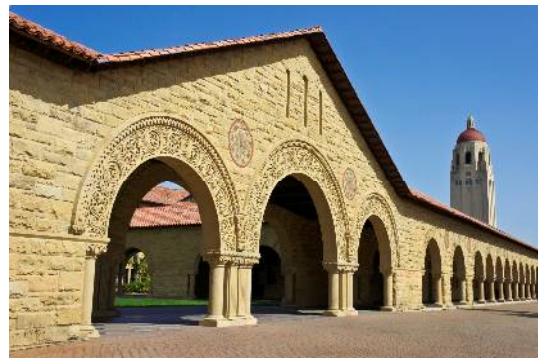


2012年9月12日
株式会社朝日ネット

Press Release

スタンフォード大学にて「マナバ」を活用した先端的教材・教授法共有を実現 ～ 世界の中高等教育機関の教員養成向けに ～

株式会社朝日ネット(東証一部、本社：東京都中央区、代表取締役社長：山本公哉)は、スタンフォード大学付属のプログラム『SPICE』(Stanford Program on International and Cross-Cultural Education)と共同で、世界の中高等教育機関教員向けの新しい日本近現代史教材作成と、クラウド型教育支援システム「マナバ」を活用した先端的教材・教授法共有を実現致しました。



スタンフォード大学

『SPICE』は、中高等教育機関(コミュニティカレッジも含む)の教員向けに、教育教材の開発及び教員養成を行なう、スタンフォード大学のプログラムの一つです。特に米国の一般的な中高等教育現場の教科書では取り扱われることの少ない、グローバルなトピックについての教材開発を行ない、世界の中高等教育機関、及び教員に配布、共有を行なっています。

今回、近現代日本の歴史や東日本大震災のインパクトなどについて、日本政治経済学の第一人者であるスタンフォード大学ダニエル・オキモト名誉教授を講師として迎えて、新しい教材作成を行ないました。

本教材は、「An Interpretive History of Japan: Paradoxes in a Nation's History」と題して、講義映像、講義資料の他、教員向けの教授法や質問集など、全6回分にわたって構成されており、東日本大震災をはじめに日本の地質学的な要素の説明から、歴史、経済、政治、さらには日米関係に至るまで、日本の近現代の歩みとポイントをカバーする内容となっています。

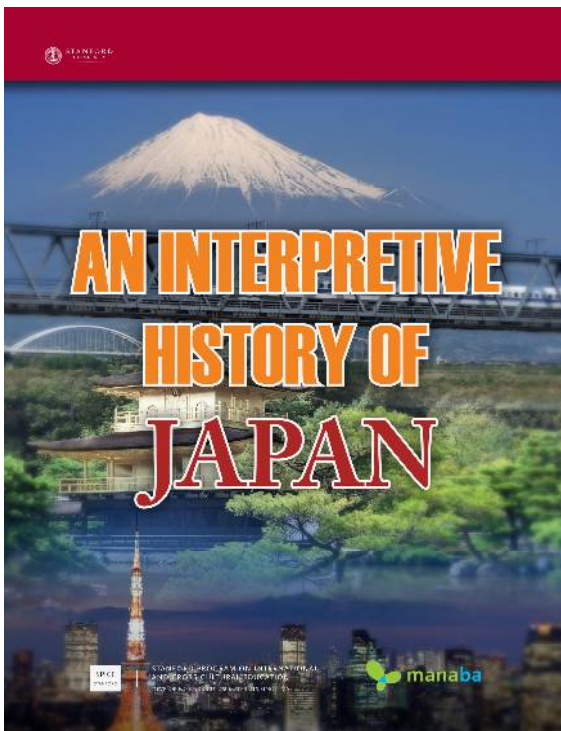
『SPICE』は、これまでDVDやCD、ハードコピーにて、教材コンテンツの提供を行なってきましたが、「マナバ」を利用することで、初めてオンラインでの教材配布が可能となる他、新たに同じトピックを教える教員同士の教授法の共有も可能になります。

より具体的には、「マナバ」を利用することで、

- ・いつでも、どこからでも利用でき、世界に向けた同プログラムに最適である
- ・新たに、教員同士で、教授法についてノウハウや経験の共有ができる
- ・ペーパーレスで環境フレンドリーな教材提供を実現できる
- ・教材送付の手間がなくなり、即時にコンテンツを伝えることができる

などのメリットが期待でき、スタンフォード大学も「マナバ」を利用した取り組みに注目しています。

『SPICE』教材のカバー



マナバ画面

講師は、日本政治経済学の第一人者である
スタンフォード大学ダニエル・オキモト名誉教授

同プログラムでの「マナバ」利用は、米国のみならず世界の教育現場での教育コンテンツ、及び教授法の共有に関する、先進的な事例になるものと考えております。朝日ネットでは、今後も「マナバ」のグローバル展開を積極的に推進してまいります。

クラウド型教育支援システム「マナバ」

日本国内における「マナバ」導入実績: 108大学



「マナバ」とは、“シンプル・かんたん・そして安心”をコンセプトに朝日ネットが企画・開発を行い、インターネット上に学びの場を提供するクラウドサービスです。「マナバ」はインターネット環境を活用することで、時間や場所を選ばず効果的な学習環境を構築いたします。

<http://manaba.jp/>

<報道機関からのお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット 経営企画室 TEL 03-3569-3835

<商品・システムに関するお問い合わせ先>

株式会社朝日ネット グローバル戦略室 TEL 03-3569-3523

以 上